

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 R P A導入で業務の改善を (20分)</p> <p>R P A (Robotic Process Automation) は、手作業でしかできないと考えられていた市の業務にも適用でき、職員の労働時間削減や人為的ミスの防止といった効果が期待できます。</p> <p>埼玉県下では、先進自治体のつくば市への視察が活発に行われており、10月に通称レインボー協議会での視察が行われたと伺っています。</p> <p>私も先日視察に伺って参りました。A I、ディープラーニング、I C Tなど先進技術が必要で導入は困難だろうと勝手に膨らませていたR P Aへの思いですが、実際には、導入は難しくなく、単純作業を繰り返し行う業務の改善に効果があるR P Aの特徴を考えると、窓口業務や税務関係の業務に効果的で、過去に窓口業務での課題があった鶴ヶ島市としては、「県下でR P Aを最初に導入」する事によるアナウンス効果も期待でき、早期に導入すべきと考え以下の質問を致します。</p> <p>(1) R P Aについて市の見解は。</p> <p>(2) レインボー協議会での視察の中身について</p> <p>(3) N T Tデータや富士通などR P Aの自治体向けソフトがありますが、特徴や機能について。</p> <p>(4) R P Aの早期の導入で業務の改善を。</p>	<p>市長</p>
<p>2 保育園や幼稚園にまだ通わない子どもの支援について (25分)</p> <p>子育てするなら鶴ヶ島-その取組は5年連続保育園の待機児童なしを成し遂げられ、その為に0歳児から2歳児までの地域型保育施設も4か所設置されています。病児病後児保育やファミリーサポーター制度等も実施されています。</p> <p>先日、鶴ヶ島市議会として流山市に視察に伺い、市が主語ではなく、住む人が主語の「母になる」というフレーズなど、シティプロモーションの戦略的な取組について伺ってきましたが、実としての子育て支援にも多くの学びがありました。</p> <p>鶴ヶ島市としては、保育園にも幼稚園にもまだ通わない、0歳～就学前まで、特に2歳児までの取組の充実に課題があると思います。</p> <p>先日、鶴ヶ島東部保育所の園庭開放を視察しました。市のつどいの広場の取組からは外れて、所謂口コミのみの案内にも関わらず、多くの親子が来ており、園庭のほか、空き部屋でも当番の保育士さんの下、楽しく過ごされていました。東部保育所は2年後の閉園が決まっており、園庭開放も止めざるを得ない状況です。しかし、大きな園庭のない近くの地域保育型施設も東部保育所の園庭開放を利用して、この地域では、</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>必要な取組と思われます。</p> <p>また、子育てセンターは、施設があるわけではなく、市の担当が鶴ヶ島保育所の中にあるだけで、つどいの広場などの取組は、保育園や児童館、市民センターで実施されていますが、つどいの広場といっても、保育園、児童館、市民センターと担当が違い、市の子育てセンターでは全てを把握していません。また、補助事業ではない園庭開放などの情報も把握されておられません。</p> <p>このままでは、縦割り行政の弊害の中で大切な子育て支援の取組がなくなってしまう。</p> <p>また、かつて「育児の花道」を作成するなど子育て支援の大きな役割を担っていた「子育てサークル」の活動は、現在は低調で、保護者の力も生かし切れていない現状にも課題があります。</p> <p>(1) 0歳児～2歳児の保育所などに通っていない人数は。0歳～就学前の児童の人数は。それらの家庭の子育て状況について。</p> <p>(2) 子育てセンターのつどいの広場への関わりについて、市全体の取組について。</p> <p>ア 所沢市地域子育て支援センターのような施設の必要性について</p> <p>イ 保育園の園庭開放など、つどいの広場と同じような取組を含めた子育て支援全体の把握と取組の必要性について。</p> <p>ウ それらを統一して管轄する部署の必要性について</p> <p>エ 他市では、つどいの広場の取組は連日実施されている所も多く見受けられます。市の取組の充実について。</p> <p>(3) 子育てするなら鶴ヶ島のシティプロモーションについて</p> <p>(4) 子育てサークルの現状と市としての取組は。</p> <p>(5) 東部保育所の閉園後の活用の予定について</p> <p>ア 園庭開放などの地域への取組の今後について</p> <p>イ 後からできたゼロ歳児室の活用について</p> <p>ウ 施設としての今後について</p> <p>(6) 東部保育所後に、施設としての地域子育て支援センターと総合的に子育て支援を担当する部署の設置を。</p>	
<p>3 地域未来投資促進法の活用への市の支援について (15分)</p> <p>鶴ヶ島市公明党として先日、釧路市、帯広市、そして芽室町へ視察に行きました。釧路市では公共施設マネジメントについて、帯広市では地域未来投資促進法について等、そして、芽室町では議会改革の取組について学んでまいりました。</p> <p>帯広市では、いわゆる地域未来投資促進法での企業の地域経済牽引計画</p>	<p>市長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>策定をサポートしており、また、最もメリットが高いと思われる固定資産税の減免などでは、牽引計画とは別に「先進的」である証明が必要で、しかも事業が始まる前に完成させなくてはならないのが大変という事でした。</p> <p>また、「株式会社 IHI（本社：東京都江東区／代表取締役社長：満岡 次郎）は、埼玉県鶴ヶ島市に、新たな生産拠点を建設するため、このたび、埼玉県と土地売買契約を締結しました。今後 IHI は、成長著しい民間航空エンジン事業を拡大するため、民間航空エンジン向け整備工場（以下、「新工場」）を建設し、2019 年内の稼働開始を目指します。」との報道があり、以下質問致します。</p> <p>(1) 鶴ヶ島市として企業の地域経済牽引計画策定へのサポートについて</p> <p>(2) 地域未来投資促進法活用の現状について</p> <p>(3) 農業大学校跡地活用の今後と I H I と鶴ヶ島市との連携について</p>	